
昔、人間は地球に住んでたらしい

よー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

昔、人間は地球に住んでたらしい

【Nコード】

N7010P

【作者名】

よー

【あらすじ】

人類は地球を離れ

3000年後ルウク星に住んでいた。

しかし少年たちは、地球へ行く事を決意する

21世紀最高傑作 これがホントの小説だ

爽快に吹く風が林を抜けて少年のもとに届いた。

少年は、そんな風を受けながら不機嫌そうにじつと立っていた。

「今日も何も無かった」少年はいつもこう言っていた。

友人のトムは、そんな少年を見ていつも何か言いたげな表情をしている。

そんな日々が何日も続いていた・・・

ある日トムは、少年に思い切って言ってみた。

「立ってるだけじゃなくて何かしたらどう？」

少年は、少しうつむいた後

「何かって何？」と呆れた顔で聞いてきた。

少しの沈黙の後 トムはこう言った

「そういえば・・・昔、人間は地球に住んでたらしいね・・・地球に行ってみない？」

少年は馬鹿にしたように

「この星の状況知ってんだろ？」と言った

地球は3000年ほど前に滅んでしまった・・・いや

実際は滅んではないが人類が住む事は難しくなっていた

そして このルウク星にやって来たのだった

このルウク星は、地球の石器時代に似ている環境だったので

すぐに人類は馴染んでいった・・・しかし政府は

地球の二の舞にならないようにするため

電気やガスなどはほとんど使えない生活を強いらせた

少年は、ニヤツと笑って

「いや、地球にいけるかもしれない」と言った
トムは不思議そうに話を少年に聞くと

この星に来るために使った宇宙船が

まだ使えるかもしれないという話だ。

どうやら ここに来るために使った宇宙船は、

素晴らしい構造で何千年もエネルギーを補充したら使えるようになる
そうだ

さっそく宇宙船を奪いに行こうとしたけど・・・

宇宙船置き場はここから3万キロ位あるので諦めましたとさ

(後書き)

感想待ってます！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7010p/>

昔、人間は地球に住んでたらしい

2010年12月30日18時22分発行